

久保幸彦
著
集英社

青少年のための 小説入門



中学生の^{かざと}一真は、町でも有名な^{のぼる}登に本を朗読することになった。登には、字の読み書きができない障害があったのだ。せがて登は小説を書くと言い出し、一真は登が語る物語を文章にすることになった。そこで一真は、登に物語をつくる才能があることに気づく…